

エコアクション21

環境経営レポート

運用期間: 令和3年1月～12月



株式会社 妹尾産業



令和 4年 2月 2日 発行



目 次

1 環境経営方針	(P1)
2 組織の概要	(P2)
組織図	(P3)
組織の概要(2)	(P4)
3 環境経営目標と実績	(P5)
4 環境経営計画	(P6)
5 環境経営計画の実施状況と結果及び次年度の取組み	(P7)
6 環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等の有無	(P8)
7 環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等の有無	(P9)
8 代表者による全体評価の見直しの結果	(P10)

1. 環境経営方針

新しく家を建てるため。新しい道路ができるため。
解体工事は建物を取り壊すことにより新たな空間を生み出します。
ただ建物を取り壊せばいいという事ではなく、近隣に迷惑をかけないように、
施主にご満足いただけるように細心の注意が必要です。
また、解体工事業を取り巻く環境の変化に乗り遅れないよう、安全・迅速・丁寧
な作業が求められています。その要求に沿って騒音・振動・粉塵クレームゼロを
目指し建造物解体工事のプロとして、日々誇りをもって工事を行っています。

1. 次の項目を重点項目として取り組みます。

- 1 事業活動において、環境法規、条例、その他要求事項を遵守し、
大気汚染、環境汚染の予防に努めます。
- 2 環境配慮型の車両・建設機械・装置の導入と保全、さらには省燃費運転に努め
二酸化炭素排出量削減に取り組みます。
- 3 事務所での節電、ごみ削減、節水に努めます。
- 4 建築リサイクル法に則り、産業廃棄物のリサイクル率を高めることを徹底します。
- 5 地域社会との調和を図り、顧客の要求品質に応えつつ、環境保全と美化に努めます。
- 6 社員一人ひとりが高い環境意識を持つて事業活動に取り組めるような適切な
社員教育を行います。

2. 当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守します。

制定日 平成28年9月26日

改定日 令和 3年7月 1日

株式会社 妹尾産業

代表取締役

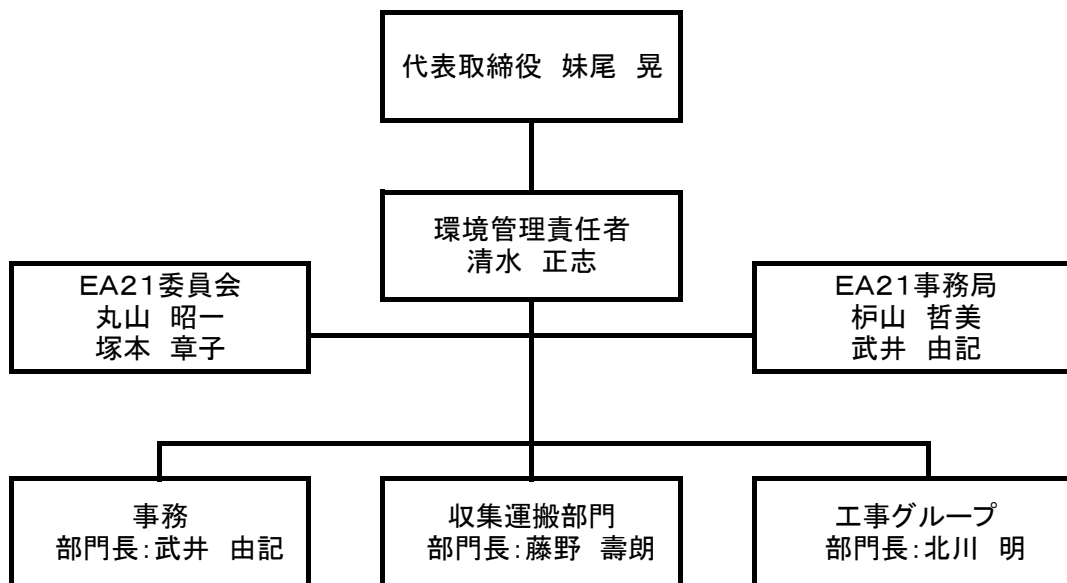
妹尾 晃

2. 組織の概要

- 1) 事業所名 株式会社 妹尾産業
代表者氏名 代表取締役 妹尾 晃
- 2) 所在地 本社 〒813-0062 福岡県福岡市東区松島4丁目4番37号
資材置場 〒813-0002 福岡県福岡市東区大字下原1443番地
- 3) 環境管理責任者 清水正志
担当者氏名 丸山昭一
連絡先 TEL / 092-612-3007 FAX / 092-612-3008
e-mai shimizu.senoo@outlook.jp
e-mai maruyama.senoo@outlook.jp
- 4) 事業の内容 解体工事業、とび・土工工事業、産業廃棄物収集運搬業
- 5) 事業の規模
- ・ 法人設立年月日 平成16年5月13日
 - ・ 法人格変更日 令和3年7月1日
 - ・ 資本金 2,000万円
 - ・ 売上高 14億3千万円(令和3年度実績)
 - ・ 従業員数 40名
 - ・ 事業所の延床面積 311m² (本社)
 - ・ 資材置場の敷地面積 441m²
 - ・ 事業年度 1月～12月
 - ・ 組織図
別紙のとおり
- 6) 許可の内容
- 6) - 1 建設業
解体工事業、とび・土工・その他工事業 福岡県知事許可(特-3) 第99254号

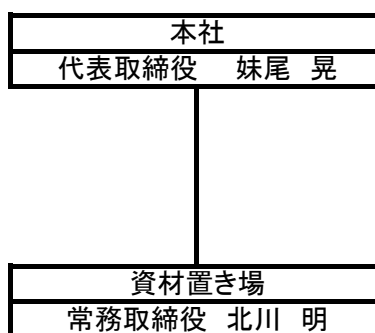
組織図

(人員構成)



組織図

(事業所)



2. 組織の概要(2)

6)-2 産業廃棄物収集運搬業

産業廃棄物収集運搬業			燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	政令第2条第13号廃棄物	石綿含有産業廃棄物	コンクリート・陶磁器くず	廃石綿	
都道府県及び政令都市	積替保管	許可番号 許可の年月日 及び 有効年月日																								
			有	無																						
福岡県 特別管理	●	許可番号:04000135087	H29/6/26 ~ R4/6/26	●	●	●		●	●	●	●				●	●	●					●				
		許可番号:04050135087	R2/12/18 ~ R7/12/17			●	●																			●
熊本県(優) 特別管理	●	許可番号:04305135087	R3/12/14 ~ R10/10/4	●	●			●	●	●	●				●	●					●		●	●		
		許可番号:04305135087	R3/ 1/8 ~ R8/1/ 7																						●	
佐賀県	●	許可番号:04101135087	R2/10/21 ~ R7/10/20	●	●	●		●	●	●	●				●	●	●								●	

事業計画の概要

許可を受けた産業廃棄物(11種類)及び特別管理産業廃棄物(福岡県4種類、熊本県1種類)について事業者から運搬の委託を受けた場合には、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき契約を締結し、排出業者からマニフェストの交付を受け、指定された許可処分業者の事業場に運搬する。

7) 施設等の状況(運搬車両の種類と台数)

10トンダンプ	2台
4トンダンプ	5台
4トンコンテナ専用車	2台
4トンキャブオーバー	3台
3トンダンプ	2台

8) 処理実績(令和3年度)

処理方法	廃棄物等種類	処理量(t)
(i)収集運搬	木くず	2118.2
	コンクリートガラ	947.8
	アスファルトガラ	38.5
	廃石膏ボード	129.7
	混合廃棄物	54.1
	石綿含有廃棄物	215.4
	その他がれき	3549.8
収集運搬量合計		7053.5

9) 認証・登録の対象範囲

対象活動	解体工事業、とび・土工事業、産業廃棄物収集運搬業
対象事業所	本社、資材置場

3. 環境経営目標と実績（令和3年度）

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年	目標	実績	達成率	目標			
			H31/R1	R3年度	R3年度	%	R4年度	R5年度	R6年度	
			1月～12月	1月～12月	1月～12月	可否	1月～12月	1月～12月	1月～12月	
1 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO ₂ /百万円	942.00	932.58	771.26	120.92%	923.16	913.74	904.32	
				(▲1%)		○	(▲2%)	(▲3%)	(▲4%)	
	二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)		672941	-	1107623.82	-	-	-	-	
	① 電気使用量の削減	事務所	kWh/百万円	21.00	20.79	13.44	154.68%	20.6	20.37	20.16
					(▲1%)		○	(▲2%)	(▲3%)	(▲4%)
	② ガソリン使用量の削減	事務所	L/百万円	15.73	15.5727	20.83	74.76%	15.4154	15.26	15.10
				(▲1%)	×		(▲2%)	(▲3%)	(▲4%)	
③ 軽油使用量の削減	現場	L/百万円	325.77	322.5123	278.06	115.99%	319.2546	316.00	312.74	
				(▲1%)		○	(▲2%)	(▲3%)	(▲4%)	
2 車輛燃料コストの削減 (燃料コスト(ガソリン+軽油)/売上高×100)	全体	%	4.52	4.47	3.52	○	4.43	4.38	4.34	
3	① 一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	680	673.2	800	×	666.4	659.60	652.80
	② 産業廃棄物のリサイクル率の向上	現場	%	90	89.1	85.2	×	88.2	87.30	86.40
4	水使用量の削減	事務所	m ³	20	19.8	69	×	19.6	19.40	19.20
5	現場でのグリーン購入の推進 RC-40(生材の不使用)	現場	%	92	91.08	100	○	90.16	89.24	88.32
6	工事車両の適切な整備による 修理費用削減 (修理費用/売上高×100)	現場	%	1.00	0.99	0.19	○	0.98	0.97	0.96
7	工事関係情報発信 (ブログアクセス数増加)	全社	アクセス/月	2500	2875	3220	○	2875	2875	2875

備考

1. 基準年の購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.371kg-CO₂/kWh(九州電力、平成30度調整後排出係数)を使用した。

4. 環境経営計画(令和3年度)

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	区分	活動項目	状況	今回の評価
1 電気使用量の削減	事務所	1 エアコン設定温度を決め、実行する	○	全体的に実施できている。 照明のLED化は完了。
		2 昼休みの消灯運動	○	
		3 照明のLED化	○	
	現場	1 電動工具不使用時は発電機を停止する	○	全体的に実施できている。
2 ガソリン使用量の削減	事務所	1 アイドリングストップを実施	○	全体的に実施できている。
	現場	2 低燃費車の導入	○	
3 軽油使用量の削減	現場	1 アイドリングストップを実施	○	全体的に実施できている。
		2 現場状況に対応した車種選定をする	○	
		3 収集運搬ルート最適化	○	

取組内容(写真)



節電

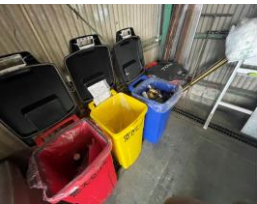


節電エアコン温度

2. 廃棄物への取組

取組目標	サイト区分	達成手段	担当者	活動期間
1 一般廃棄物排出量の削減	事務所	1 両面印刷の促進	武井	全体的に実施できている。
		2 ファイル類等のリユースの促進	武井	
		3 紙マニフェストから電子マニフェストに切り替え	松田	
2 産業廃棄物のリサイクル率の向上	現場	1 廃棄物種類ごとに分別の徹底	丸山	
		2 最終処分場への持ち込みの削減	丸山	

取組内容(写真)



ゴミの分別処理

3. 水使用量の削減

取組目標	サイト区分	達成手段	担当者	活動期間
1 水使用量の削減	事務所	1 植栽、観葉植物の季節に応じた水やりを実施	岡村	全体的に実施できている。
		2 観葉植物をこまめに屋外に出し雨水を補給	岡村	
2 水使用量の削減	現場	1 現場で雨水を利用する	近藤	
		2 粉塵飛散防止シートの利用促進	近藤	

取組内容(写真)



節水

5. 環境経営計画の取組結果とその評価

1. 二酸化炭素排出量の削減

2. 車両燃料コストの削減

活動項目		実施状況（四半期）				一年間の評価	次年度の取組内容
		1	2	3	4		
電気使用量削減 (事務所)	エアコンの設定温度を決め実行する	○	○	○	○	採光が良い間取りになり暖房の利用が減ると共に、換気を行い冷房の使用も減少した。未使用箇所の照明も意識的に停止している。LED蛍光灯は解体現場から調達継続。	節電、エコを意識し引き続きエアコンの温度調整、未使用照明の停止を実施する。 20時での消灯の実施を推進する。
	不用な照明の消灯	○	○	○	○		
	20時での消灯実施	△	△	△	△		
電気使用量削減 (現場)	照明のLED化	○	○	○	○	電動工具を不使用时に停止を意識的に実施できている。	さらなる節電の意識向上
	電動工具不使用时は発電機を停止	○	○	○	○		
ガソリン使用量の削減	アイドリングストップの実施	○	○	○	○	アイドリングストップ搭載の車両を5台導入した。	引き続きエコカーへの切り替え導入を行いたい。
	低燃費車の導入	○	○	○	○		
軽油使用量削減	アイドリングストップの実施	△	△	△	△	重機、ダンプ適切な選定はもともできています。	廃棄物の搬入先は現場からの距離も考慮し処分場を選定する。
	現場状況に対応した車種選定をする	○	○	○	○		
	収集運搬車両の最適化	○	○	○	○		

3. 廃棄物排出量削減

活動項目		実施状況（四半期）				一年間の評価	次年度の取組内容
		1	2	3	4		
一般廃棄物	両面印刷の促進	○	○	○	○	資料作成・業務連絡の電子化によりペーパーレス化を促進できた。	紙媒体から電子化へのさらなる推進を行う。社内資料は両面印刷を行う。
	ファイル類等のリユースの促進	△	△	△	△		
	ペーパーレス化	○	○	○	○		
産業廃棄物	廃棄物種類ごとに分別の徹底	○	○	○	○	分別解体が徹底されてきた。	引き続き分別解体を実施し、リユースを意識し環境に配慮していきたい。
	最終処分場への持ち込みの削減	○	○	○	○		

4. 水使用量の削減

活動項目		実施状況（四半期）				一年間の評価	次年度の取組内容
		1	2	3	4		
事務所	節水コマを使用する	○	○	○	○	事務所移転により節水タイプの設備を導入したが、事務所併合により水道使用量が数値上は増加している。	令和元年度よりも低い数値になるよう節水を心掛ける。
	トイレに流水温装置を設置する	○	○	○	○		
	水洗便所タンクにペットボトルを入れ	○	○	○	○		
現場	現場で雨水を利用する	×	×	×	×	雨水の安定使用が困難。	環境に配慮し適切な設備を導入していく。
	粉じん飛散防止シートの利用促進	○	○	○	○		

5. 現場におけるグリーン購入の推進

活動項目		実施状況（四半期）				一年間の評価	次年度の取組内容
		1	2	3	4		
現場	RC-40等再生材の購入	○	○	○	○	再生材の使用意識が浸透し、定着している。	引き続き福岡県リサイクル認定品の購入をする。

6. 工事車両の適切な整備による修理費用削減

活動項目		実施状況（四半期）				一年間の評価	次年度の取組内容
		1	2	3	4		
現場	定期点検（自主点検）の徹底	×	×	△	○	年度後半は点検シートの活用、定期点検の実施がよ	定期点検で不具合を見逃さない。
事務所	月々の修繕費用を計上する	△	△	△	△	実施されているが不定期	スケジュール作成、実行をリチェックする。

7. 工事関係情報発信

活動項目		実施状況（四半期）				一年間の評価	次年度の取組内容
		1	2	3	4		
事務所	ホームページ情報の適切な更新	○	○	○	○	良く実施している	引き続き実施
	ブログアクセス数の把握	○	○	○	○		

○：実施できた △：十分とは言えなかった ×：不十分であった

6. 次年度の取組み内容

1. 二酸化炭素排出量の削減

※環境経営目標は（P5）参照

活動項目		区分	担当者	スケジュール			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
電気使用量削減	エアコン設定温度を決め、実行する	事務所	武井				
	不用な照明の消灯	事務所	武井				
	花壇植栽による直射日光の遮断	事務所	武井				
	ロールスクリーンによる室温上昇の防止	事務所	武井				
電気使用量削減	電動工具不使用時は発電機を停止する	現場	権藤				
ガソリン使用量の削減	アイドリングストップの実施	事務所 現場	丸山				
	低燃費車の導入	現場	丸山				
軽油使用量削減	アイドリングストップの実施	現場	北川				
	現場状況に対応した車種選定をする	現場	塚本				
	収集運搬車両の最適化	現場	北川				

2. 廃棄物排出量削減

活動項目		区分	担当者	スケジュール			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
一般廃棄物	両面印刷の促進	事務所	武井				
	ファイル類等のリユースの促進	事務所	武井				
	紙マニフェストから電子マニフェストへ切替	事務所	松田				
産業廃棄物	廃棄物種類ごとに分別の徹底	現場	塚本				
	最終処分場への持ち込みの削減	現場	塚本				

3. 水使用量の削減

活動項目		区分	担当者	スケジュール			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
節水活動の推進		事務所	武井				
現場で雨水を利用する		現場	近藤				

4. 現場におけるグリーン購入の推進

活動項目		区分	担当者	スケジュール			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
RC-40、再生材の購入		現場	北川				

5. 工事車両の適切な整備による修理費用削減

活動項目		区分	担当者	スケジュール			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
定期点検（自主点検）の徹底		現場	権藤				
月々の修繕費用を計上する		現場	梶山				

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動、製品及びサービスに適用される主な環境関連法規等は次のとおりです。

適用される法規等	適用される事項(施設・物質・活動等)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理 産業廃棄物収集運搬業上の法令遵守
建設リサイクル法	一定規模以上は建築4品目の分別解体と再資源化
騒音規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の騒音レベルの遵守
振動規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の振動レベルの遵守
石綿関連法(労働安全衛生法 石綿障害予防規則等)	石綿の撤去作業
大気汚染防止法	アスベストの排出を伴う工事
道路交通法	過積載をなくす
フロン排出抑制法	業務用の空調機の簡易点検
自動車リサイクル法	社有車、営業車等の買い替え時
家電リサイクル法	冷蔵庫、エアコン等の処分時
オフロード法	建設重機の使用

令和4年1月31日に上記の環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。また過去3年間、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

1 二酸化炭素排出量の削減

目標値に対する達成率は120.9%でした。
工事高に比しての排出量は前年度実績より年々向上している。
今後も引き続き目標をクリアできるよう取り組んでいく所存です。

2 車両燃料コストの削減

基準年及び目標値、昨年度に対して削減が達成されました。
炭素エネルギーの高騰に対応する為、低燃費車の導入検討や
アイドリングストップといった対策を講じていく。

3 廃棄物への取組み

一般廃棄物の排出量は基準年、目標値を達成できました
段ボール等を無料回収業者へに引き取っていただいたことが
大きいと思います。

産業廃棄物におきましてはリサイクル率が大幅に向上いたしました
また、最寄りの処分場の選定も行えており、燃料使用量も削減できております。
現場でのより一層の分別解体の徹底を続けてい所存です。

4 水使用量の削減

大型物件の現場多くなり、解体現場の水使用量が前年よりも増加してしまつた。
もう一つの要因としてウォータージェット工法による外壁塗材アスベスト撤去工事が
本格的に始動した。

5 解体現場におけるグリーン購入の推進

真砂土、海砂、自然砕石は特別の指示がない限りの使用を禁止いたしました。
今後も引き続きリサイクル材を使用いたします。

6 工事車両の適切な整備による修理費用削減

売上高は前年に比して大幅に増加したにもかかわらず
年間の修理費用は昨年度に続き前年比を大幅に下回ることができました。
前年比64.6%でした。始業前の入念な点検を各自が実施できているようです。

7 工事関係情報発信

営業ブログを開設し、社長発信のブログと合わせてより多くの情報を発信する体制
になった。またyoutube動画のチャンネルを開設し定点カメラでの解体状況(タイプラプス)
を公開したし、昨年のドローン撮影よりも大きな反響があった。

見直しの結果

全体として目標に対する実績は上回ることができた。事務所移転後2年
経過し通年実績は事務所移転初年度と比較し改善した。試行錯誤の結果
を踏まえ良かった点は継続し、改善すべき点はある程度明確になった
ため環境及び地域貢献を全社を挙げて今後も取り組んでまいる所存で
す。